

《 要旨 》

**1. 視聴率動向と編成戦略**

**・ 視聴率動向**

先週は個人視聴率で全日・ゴールデン・プライムの三冠王。9月月間でも個人視聴率三冠をとることができた。月間三冠は6か月連続。

26週ある上半期のうち24週が個人視聴率三冠だった。コアターゲット（13-49歳男女）は月間三冠王を83か月連続で獲得。上半期は新型コロナウイルスの影響で在宅率が高く、各局とも視聴率は高い傾向だと思う。ウィズコロナの新しい生活様式の中でも、視聴者にさらに見て頂けるよう10月改編に取り組む。

**2. 営業状況**

**・ 放送収入**

コロナ禍でスポットが打撃を受けている。スポットは、5、6月と減少し、6月を底に、7月8月と上向きになっているが、昨年と比べるとかなり落ち込んでいる。化粧品・トイレタリーの業種が落ち込んでいることが一因。営業収入トータルでは、ネットタイムセールスはレギュラーが好調で8月は前年を超えることができた。

**・ 放送外収入**

イベントは延期や中止が続いている。映画は座席を絞りながら上映している『今日から俺は！！劇場版』は大ヒットとなり、先週末終了時点で興行収入52.6億円を達成。

**3. 質疑**

**Q. トライアルとして始まる同時配信について**

A. 今年10月から、「日テレ系ライブ配信」を始める。当初の予定より多くの番組を配信できるようになった。より多くの人に利用して頂き、権利者・クライアント・ネットワーク各局に同時配信の展望をデータで示したい。

具体的には、キャッチアップサービスに誘導できているか、地上波放送に回帰するものがあるか、スポンサーニーズに応えられるかなどのデータ収集を行う。作業フローの手順も確認したい。

**Q. 今年の24時間テレビについて**

A. 今回はコロナ禍での開催だったため、徹底的にリスクを回避し、準備を周到にして行った。最大の苦労は、全ての企画を見直す必要があったことだが、無観客、対面募金なし、公道でのチャリティーマラソンなしなど新しい挑戦もした。

(了)

小杉 善信 代表取締役 社長執行役員

福田 博之 取締役執行役員